

# 農学国際協力

International Cooperation in Agriculture

Volume 10

**特集 第9回オープンフォーラム**  
**大学等が有する知的資源の組織的活用による**  
**国際教育・研究協力の推進と強化**  
**－農学知的支援ネットワークの形成に向けて－**

2009.3



名古屋大学農学国際教育協力研究センター  
International Cooperation Center for Agricultural Education

名古屋大学農学国際教育協力研究センター

第9回オープンフォーラム

大学等有する知的資源の組織的活用による  
国際教育・研究協力の推進と強化  
—農学知的支援ネットワークの形成に向けて—

日時：2008年10月30日（木）～ 10月31日（金）

会場：名古屋大学大学院環境学研究科レクチャーホール

（環境総合館：名古屋市千種区不老町）

名古屋大学農学国際教育協力研究センター

International Cooperation Center for Agricultural Education (ICCAE)  
Nagoya University

農学国際協力 第10号  
International Cooperation in Agriculture Volume 10

目次

巻頭言 .....	i
目次 .....	iv
プログラム .....	1
<b>開会セッション</b>	
主催者挨拶 山内 章：名古屋大学農学国際教育協力研究センター長 .....	3
来賓挨拶 宮田隆司：名古屋大学理事（社会連携・産学官連携、国際交流担当）・ 副総長 .....	5
<b>基調講演</b>	
国際農業の抱える問題と日本の役割：農学知的支援ネットワークへの期待 岩永 勝：農業・食品産業技術総合研究機構作物研究所長 .....	6
<b>第1セッション「農学知的支援ネットワークの意義と役割」</b>	
農学知的支援ネットワーク設立の背景・趣旨・展望 浅沼修一：名古屋大学農学国際教育協力研究センター教授 .....	17
国際教育協力の動向と農学知的支援ネットワークに対する期待 浅井孝司：文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長 .....	26
質疑応答 .....	33
大学と新 JICA の連携に関する基本認識について 戸田隆夫：国際協力機構 JICA 研究所上席研究員 .....	35
J-FARD の目的とネットワークへの期待 安中正実：国際農林水産業研究センター企画調整部長／J-FARD 事務局 .....	41
質疑応答 .....	45
第1セッション質疑応答 .....	46
<b>第2セッション「制度設計と活動内容」</b>	
大学と国際協力機関との組織連携強化 松本哲男：名古屋大学農学国際教育協力研究センター教授 .....	55
農学知的支援ネットワークの運営に必要な制度・枠組みの検討 田和正裕：名古屋大学国際環境人材育成プログラム特任教授 .....	64
ネットワークを活用するための事務局の機能と活動に対する意見 板垣啓四郎・志和地弘信：東京農業大学国際協力センター教授 .....	71
第2セッション質疑応答 .....	78

**第3セッション「ネットワークの活用が想定される事例」**

大学等が持つ知的・人的リソースを利用した 国際協力プロジェクトの組織的実施の可能性（アンケートから） 榎原大悟：名古屋大学農学国際教育協力研究センター准教授.....	91
質疑応答 .....	98
水産研究と地域開発の統合を目指したネットワーク構築の可能性 石川智士：東海大学海洋学部准教授.....	99
質疑応答 .....	107
第3セッション質疑応答.....	109

**第4セッション「農学知的支援ネットワークの戦略的活用」**

ネットワークを活用したアフリカ農業・農村開発のための人材育成戦略 櫻井武司：名古屋大学農学国際教育協力研究センター客員教授.....	113
質疑応答 .....	122
農業・地域開発フィールド人材育成へのアフリカ・アジア連携支援について 田中 樹：京都大学大学院地球環境学堂准教授.....	123
質疑応答 .....	133
アジアの経験を基にした農学知的支援ネットワークの活用戦略 緒方一夫：九州大学熱帯農学研究センター長・教授.....	134
「参加型地域社会開発（PLSD）」の農業・農村開発への適用 大濱 裕：日本福祉大学社会福祉学部准教授.....	142
質疑応答 .....	149
第4セッション質疑応答.....	151

**パネルディスカッション**

「農学知的支援ネットワーク推進のためのアクションプラン」 ～誰が、誰のために、何をするのか～.....	159
閉会の挨拶 .....	178
講演者等プロフィール.....	181
編集後記 .....	191

## プログラム

- ◆テーマ：大学等有する知的資源の組織的活用による国際教育・研究協力の推進と強化  
—農学知的支援ネットワークの形成に向けて—
- ◆開催日：2008年10月30日（木）13:30～17:35、10月31日（金）9:30～14:40
- ◆会場：名古屋大学大学院環境学研究科レクチャーホール  
（環境総合館：名古屋市千種区不老町）

### 10月30日（木）

#### 13:30-13:45 開会

- 司会：浅沼修一：名古屋大学農学国際教育協力研究センター教授  
 主催者挨拶 山内 章：名古屋大学農学国際教育協力研究センター長・教授  
 来賓挨拶 宮田隆司：名古屋大学理事（社会連携・産学官連携、国際交流担当）・副総長

#### 13:45-14:15 基調講演

- 国際農業の抱える問題と日本の役割：農学知的支援ネットワークへの期待  
 岩永 勝：農業・食品産業技術総合研究機構作物研究所長

#### 14:15-16:15 1. 農学知的支援ネットワークの意義と役割

- 座長：松本哲男：名古屋大学農学国際教育協力研究センター教授
- 1) 農学知的支援ネットワーク設立の背景・趣旨・展望  
浅沼修一：名古屋大学農学国際教育協力研究センター教授
  - 2) 国際教育協力の動向と農学知的支援ネットワークに対する期待  
浅井孝司：文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長

#### 15:00-15:15 休憩

- 3) 大学と新 JICA の連携に関する基本認識について  
戸田隆夫：国際協力機構 JICA 研究所上席研究員
- 4) J-FARD の目的とネットワークへの期待  
安中正実：国際農林水産業研究センター企画調整部長／J-FARD 事務局  
質疑応答

#### 16:15-17:35 2. 制度設計と活動内容

- 座長：榎原大悟：名古屋大学農学国際教育協力研究センター准教授
- 1) 大学と国際協力機関との組織連携強化  
松本哲男：名古屋大学農学国際教育協力研究センター教授
  - 2) 農学知的支援ネットワークの運営に必要な制度・枠組みの検討  
田和正裕：名古屋大学国際環境人材育成プログラム特任教授
  - 3) ネットワークを活用するための事務局の機能と活動に対する意見  
板垣啓四郎・志和地弘信：東京農業大学国際協力センター教授  
質疑応答

#### 18:00-20:00 懇親会

10月31日(金)

9:30-10:20 **3. ネットワークの活用が想定される事例**

座長：伊藤香純：名古屋大学農学国際教育協力研究センター准教授

- 1) 大学等が持つ知的・人的リソースを利用した国際協力プロジェクトの組織的実施の可能性（アンケートから）

榎原大悟：名古屋大学農学国際教育協力研究センター准教授

- 2) 水産研究と地域開発の統合を目指したネットワーク構築の可能性

石川智士：東海大学海洋学部准教授

質疑応答

10:20-10:30 休憩

10:30-12:10 **4. 農学知的支援ネットワークの戦略的活用**

座長：田和正裕：名古屋大学国際環境人材育成プログラム特任教授

- 1) ネットワークを活用したアフリカ農業・農村開発のための人材育成戦略

櫻井武司：名古屋大学農学国際教育協力研究センター客員教授

- 2) 農業・地域開発フィールド人材育成へのアフリカ・アジア連携支援について

田中 樹：京都大学大学院地球環境学学術准教授

- 3) アジアの経験を基にした農学知的支援ネットワークの活用戦略

緒方一夫：九州大学熱帯農学研究センター長・教授

- 4) 「参加型地域社会開発（PLSD）」の農業・農村開発への適用

大濱 裕：日本福祉大学社会福祉学部准教授

質疑応答

12:10-13:10 昼食

13:10-14:35 **パネルディスカッション**

「農学知的支援ネットワーク推進のためのアクションプラン」

～誰が、誰のために、何をするのか～

モデレーター：花里信彦：名古屋大学大学院生命農学研究科特任教授

パネリスト：浅井孝司：文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長

齋藤克郎：国際協力機構農村開発部計画・調整担当次長

安中正実：国際農林水産業研究センター企画調整部長／J-FARD 事務局

緒方一夫：九州大学熱帯農学研究センター長・教授

浅沼修一：名古屋大学農学国際教育協力研究センター教授

14:35-14:40 閉会挨拶

山内 章：名古屋大学農学国際教育協力研究センター長